

青い森の食材研究会の活動内容

1. 活動目的

本会は、県内の大学、試験研究機関の研究者が一堂に会し、研究シーズとして蓄積した本県の農林水産物に関する機能性（効能効果や利用方法など）の情報を一元化し、広く普及させることで、県産機能性素材の活用につなげるとともに、産官学連携の推進、関連産業の振興、新たな産業づくりに寄与することを目的とする。

2. 活動実績等

- ・本県の農林水産資源の機能性情報（県産機能性素材）を効果的に発信する（データベース化、ホームページ等）。
- ・県産機能性素材の普及と活用の促進（ハンドブック作成、展示会出展、セミナー開催等）。
- ・県産素材を活用した商品開発に関わる。

3. 今後の活動計画（およそ3年間）

- 1) 研究会の開催
 - ・研究会の情報交換と各種事業の調整
- 2) 青い森の食材研究会セミナーの開催
 - ・食材の機能性や食品の表示に関わる研究セミナーを年1回行う（青森県内研究者、企業関係者、行政関係者等）。
- 3) 青い森の機能性食品素材ハンドブックの改訂・発行
 - ・改訂・追加データ原稿を研究会会員から収集し、改訂版を発行する。
 - ・ハンドブックは各種展示会や地域の催事等で配布、授業等で利用する。
- 4) 展示会出展
 - ・アグリビジネス創出フェア、あおもり新商品お披露目会等へ参加する。
 - ・研究会の活動パネルの展示、ハンドブックの配布、研究会が関与した食材製品を展示し、青森県の食材とその機能性を広くアピールする。
- 5) 県産機能性素材データベースの更新

※ホームページ、データベース

<http://www.21aomori.or.jp/kinou/>